



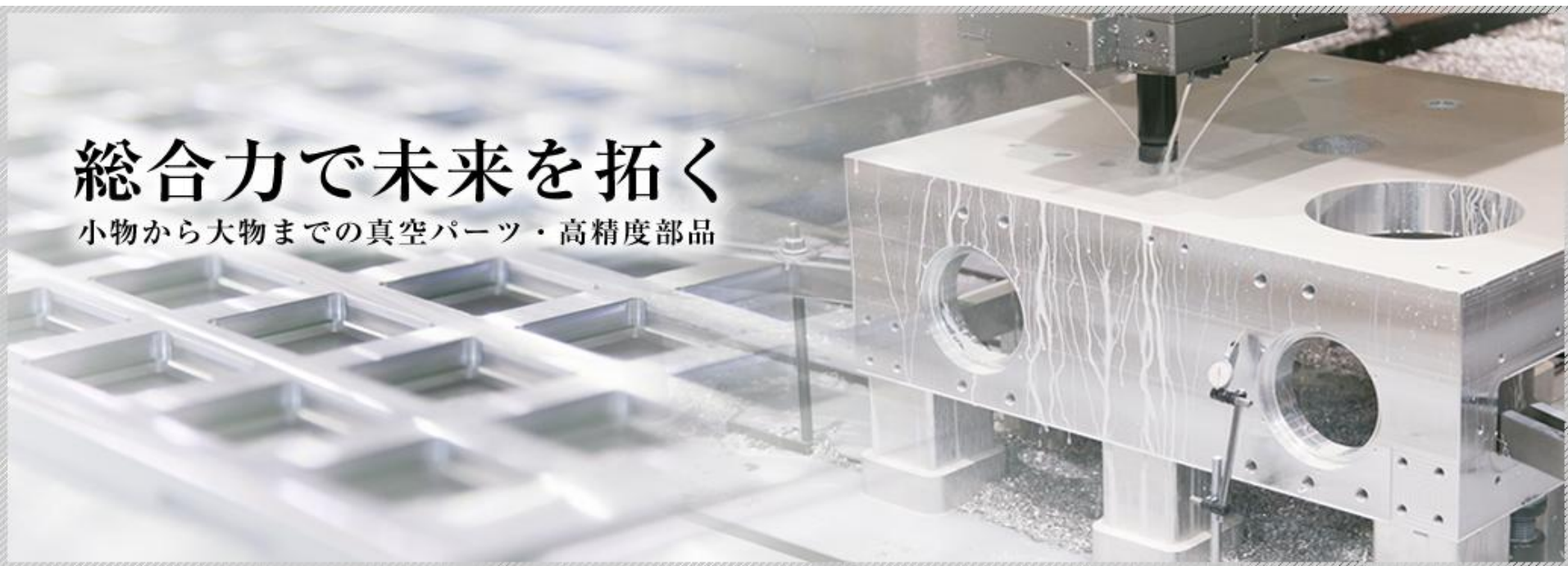
東証(TSE):6264

株式会社マルマエ
2020年8月期 第1四半期決算 補足資料

2020年1月6日

総合力で未来を拓く

小物から大物までの真空パーツ・高精度部品



PL分析

PL

| | 2019年8月期 第1四半期累計期間 | | 2020年8月期 第1四半期累計期間 | | |
|---------|-----------------------|-----------|-----------------------|-----------|------------------|
| | 金額 (百万円) | 割合 (%) | 金額 (百万円) | 割合 (%) | 対前年同期 増減率 (%) |
| 受注高 | 933 | — | 956 | — | 2.4 |
| 受注残高 | 736 | — | 776 | — | 5.4 |
| 売上高 | 1,174 | 100.0 | 941 | 100.0 | △19.8 |
| 売上原価 | 782 | 66.6 | 665 | 70.6 | △15.0 |
| 売上総利益 | 391 | 33.4 | 276 | 29.4 | △29.4 |
| 販売管理費 | 165 | 14.1 | 129 | 13.7 | △21.7 |
| 営業利益 | 226 | 19.3 | 147 | 15.7 | △35.0 |
| 経常利益 | 224 | 19.1 | 144 | 15.3 | △35.8 |
| 特別損益 | △4 | 0.4 | — | — | △100.0 |
| 当期純利益 | 150 | 12.9 | 98 | 10.4 | △35.1 |
| EPS (円) | 11.57 | — | 7.51 | — | △35.1 |

Point

①受注状況

- 半導体分野：715百万円
(対前年同期：2.1%減)
- FPD分野：235百万円
(対前年同期：31.7%増)
- その他分野：4百万円
(対前年同期：80.8%減)

②売上高

- 対前年同期19.8%の減少
- ※分野別の詳細は次頁

③売上原価・売上総利益

- 材料費：31百万円減少
(対前年同期：16.6%減)
- 労務費：15百万円減少
(対前年同期：6.9%減)
- 外注加工費：35百万円減少
(対前年同期：24.4%減)
- 減価償却費：10百万円増加
(対前年同期：9.6%増)

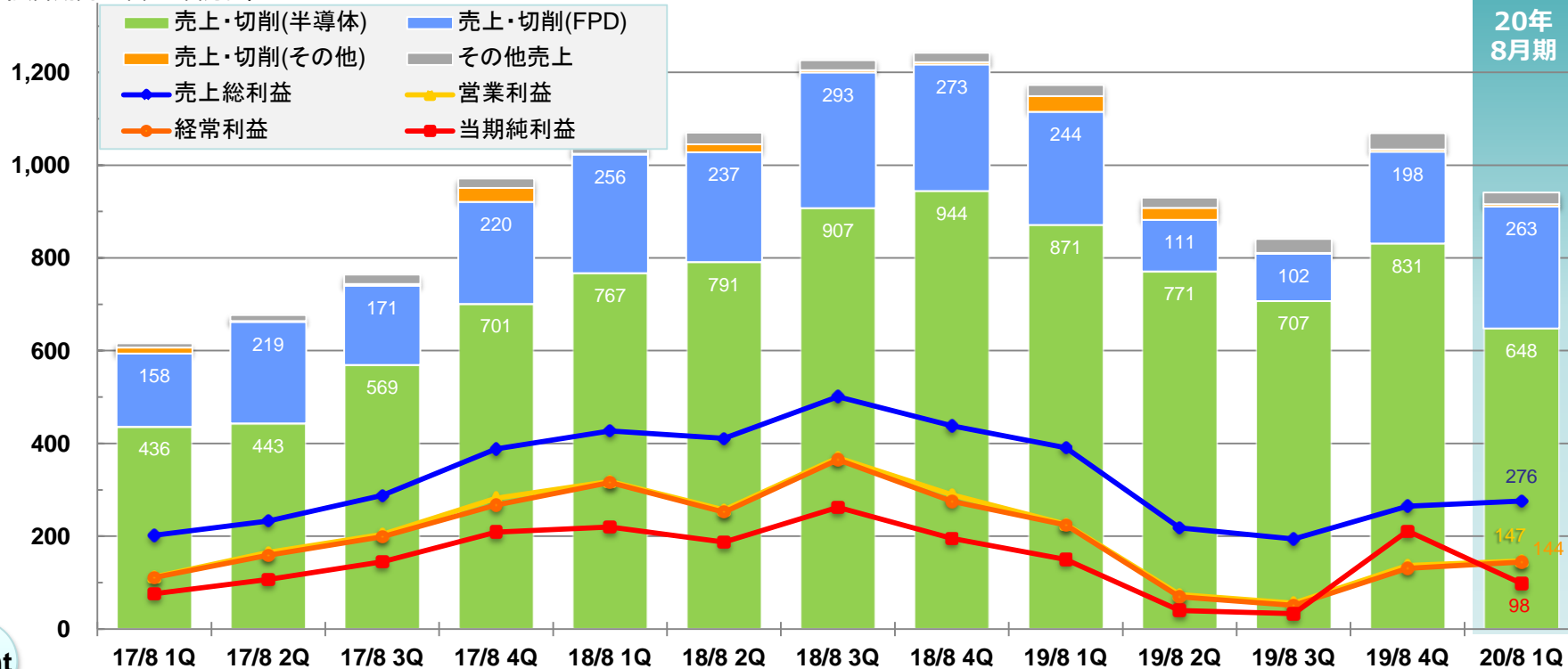
④営業利益

- 販管人件費：3百万円減少
(対前年同期：5.6%減)

1.決算概要

四半期業績の推移

(会計期間 単位：百万円)



Point

①売上高は、FPD分野好調も半導体分野は出直し

■半導体分野：648百万円（対前年同期：25.6%減）

- ・一部消耗品種の減少による売上減少

■FPD分野：263百万円（対前年同期：8.0%増）

- ・EBW（電子ビーム溶接）関連受注による売上増加

■その他分野：5百万円（対前年同期：85.6%減）

②損益面は低調ながらも改善傾向

- ・限界利益率の良い案件が増え、変動費は低減
- ・昨年未までに生産設備の増強を行ったことにより、減価償却費が増加

※グラフは四半期毎の会計期間の数値ですが、ポイントのコメントは当期の累計期間の数値となっております。

1.決算概要



B/S分析

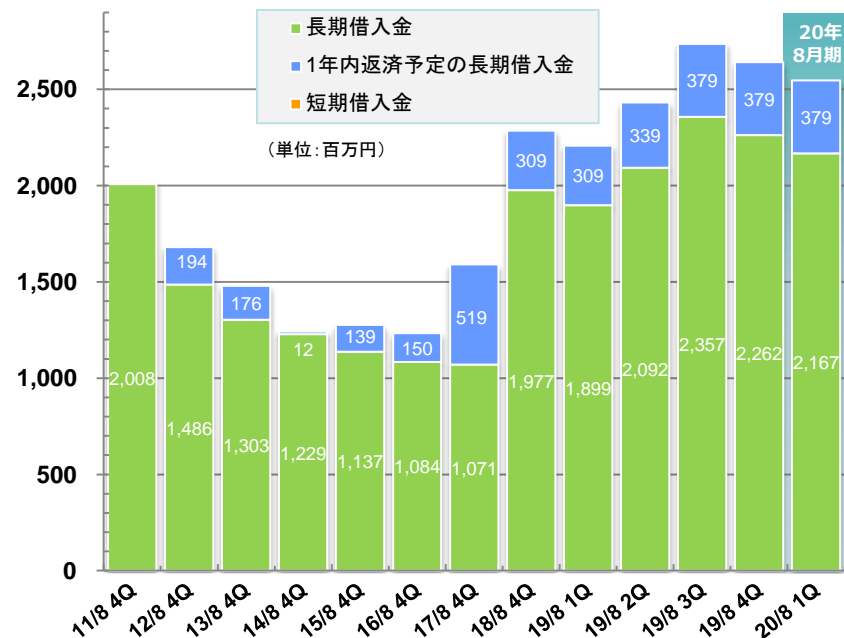
B/S

| (単位：百万円) | 2019年8月期 会計年度末 | 2020年8月期 第1四半期末 |
|---------------------------|-------------------|--------------------|
| 流動資産 | 3,607 | 3,735 |
| 現金及び預金 | 2,263 | 2,315 |
| 売上債権 (受取手形・売掛金・電子記録債権) | 834 | 897 |
| たな卸資産 | 435 | 451 |
| 固定資産 | 4,721 | 4,605 |
| 建物・土地 | 2,448 | 2,427 |
| 機械及び装置 | 2,009 | 1,922 |
| 流動負債 | 731 | 805 |
| 有利子負債（短期）※ | 379 | 379 |
| 固定負債 | 2,289 | 2,195 |
| 長期借入金 | 2,262 | 2,167 |
| 負債合計 | 3,021 | 3,000 |
| 純資産合計 | 5,307 | 5,340 |
| 総資産 | 8,329 | 8,341 |

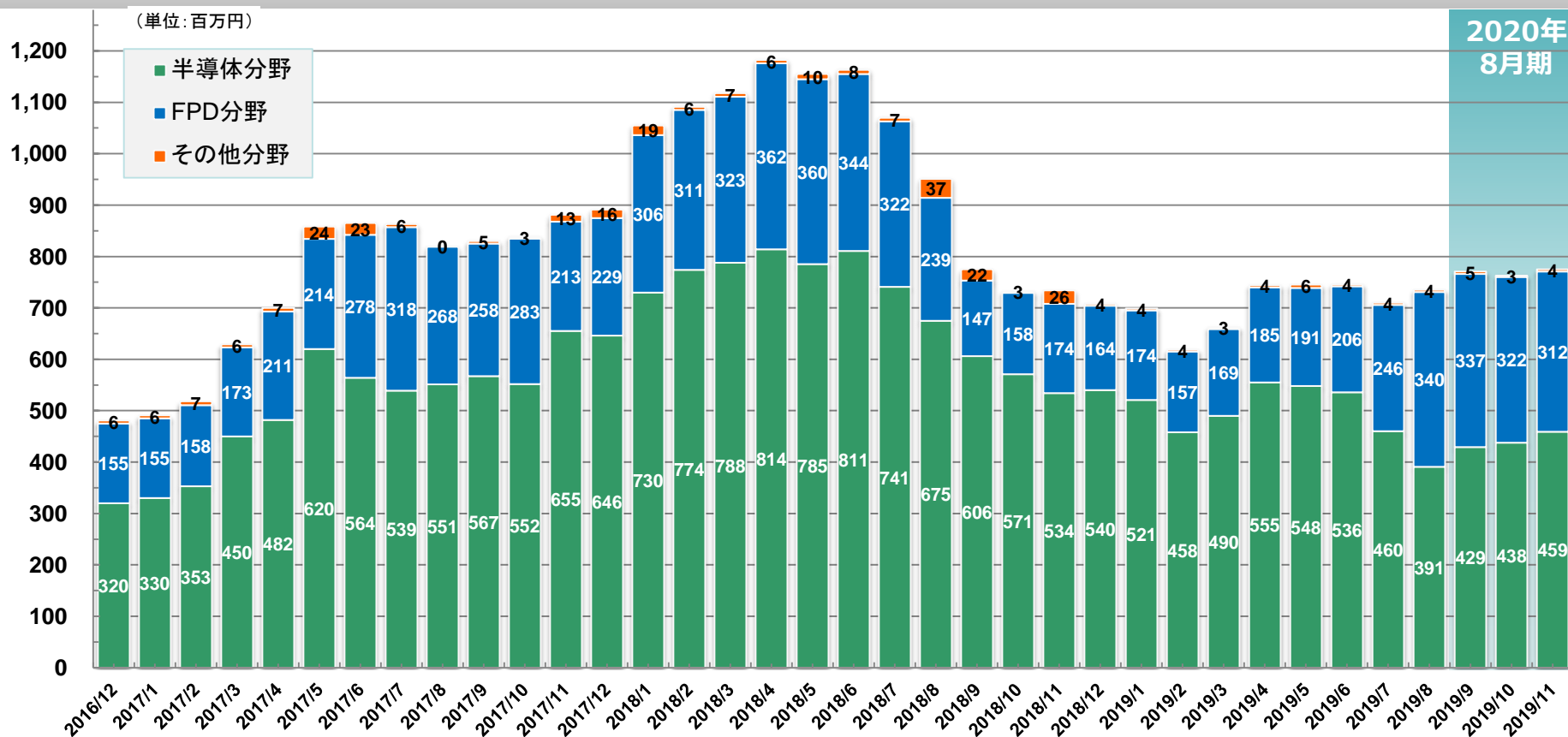
※ 有利子負債（短期）：短期借入金+1年内返済予定の長期借入金

Point

- ① **資産：8,341百万円(前期末比:12百万円増加)**
 - 有形固定資産：111百万円減少
 - 売上債権：63百万円増加
 - 現金及び預金：51百万円増加
- ② **負債：3,000百万円(前期末比:20百万円減少)**
 - 長期借入金：94百万円減少
 - 未払法人税等：37百万円増加
- ③ **純資産：5,340百万円(前期末比:32百万円増加)**
 - 利益剰余金：32百万円増加
 - 自己資本比率：63.7%→64.0%



月次受注残高の推移



2020年
8月期

Point

- 半導体分野は、ロジック向け好調。メモリ向け再始動。一部消耗品種減少以外は再拡大始まる
- FPD分野は、中小型パネル向けが回復。大型液晶パネル向けの一部中断もEBW工程受注拡大
- その他分野は新たな動きなし

※当社の受注は、案件ごとに長短さまざまなリードタイム (LT) があり、LTの長い案件が多いと売上高にくらべ受注残が多めで、LTが短い案件が多いと売上高にくらべ受注残は低めに表れます。

販売分野別の環境と方針等

半導体分野

- ◆ ロジック向けは過去最高水準継続。NAND向けも再開
- ◆ 一部消耗品のリサイクル影響長期化。新規品は拡大
- ◆ 新顧客開拓と受注品種拡充で再拡大を狙う

FPD分野

- ◆ G6 OLED（有機EL）設備投資続くも、新規計画低調
- ◆ 大型EBW^{※1}により真空チャンバーの受注拡大
- ◆ 同業者の撤退もあり、案件少なくともシェア拡大傾向続く

その他分野

- ◆ EBW、加工、ガンドリル、表面処理のワンストップ受注狙う
- ◆ 生産余力を活かし半導体とFPD以外の受注進める

※1 EBW：電子ビーム溶接の略。真空内で電子ビームを高速に加速し、素材に照射することによって素材を溶融させながら溶接する加工

3. 2020年8月期の業績予想

今期の見通し(損益・設備投資・固定費要因)

業績
予想

(単位：百万円、1株当たり当期純利益は円)

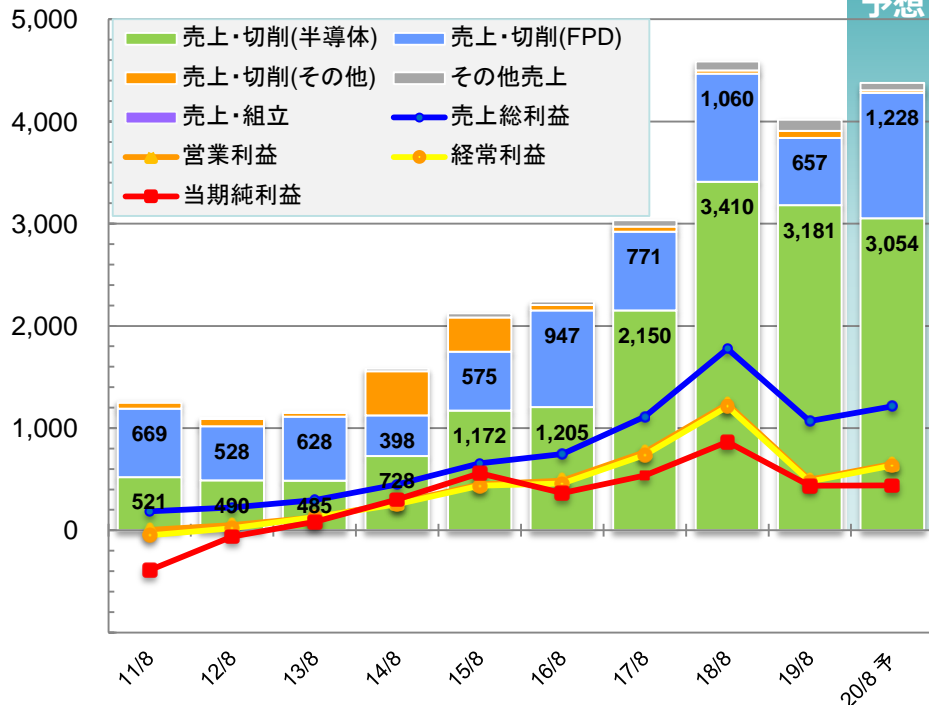
| 2020年8月期 業績予想 | 売上高 | 営業 利益 | 経常 利益 | 純利 益 | 1株当たり 純利益 |
|------------------|-------|----------|----------|---------|--------------|
| 第2四半期(累計) | 2,000 | 280 | 270 | 187 | 14.33 |
| 通期 | 4,380 | 650 | 633 | 440 | 33.71 |

Point

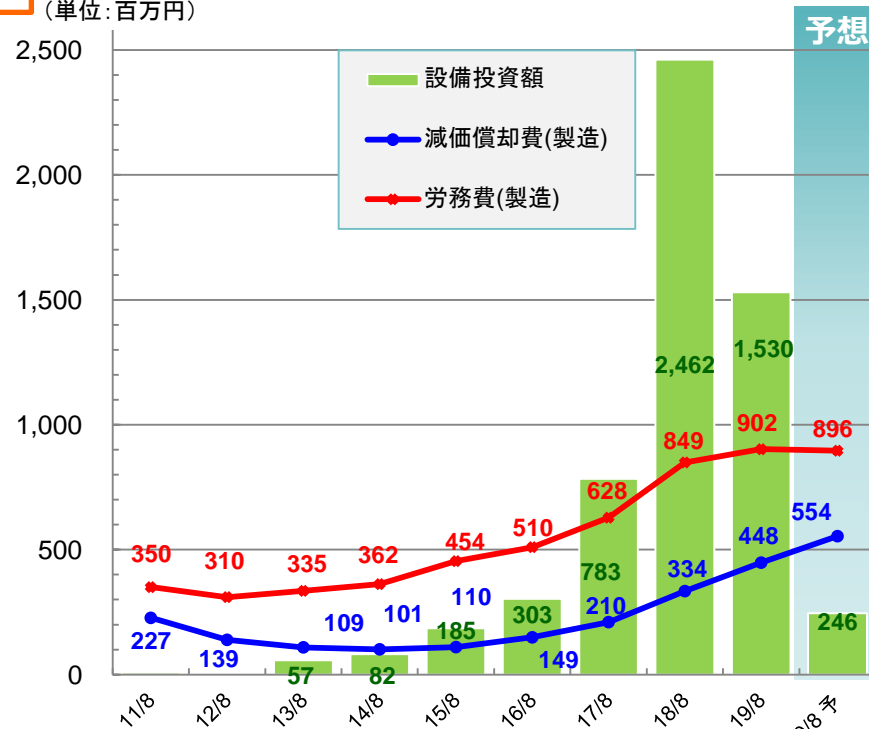
- ✓ 半導体分野は市場回復も消耗品影響残る
- ✓ FPD分野はEBW工程が受注貢献
- ✓ 新規品の生産ひっ迫もあり投資再開も視野
- ✓ 自動化の認証出始め、生産性改善に注力

上期は、一部消耗品減少の影響(年間約6億減)もあり低調な損益を見込んだが、MIX改善や環境好転もあり改善傾向。損益は上方修正

(単位：百万円)



(単位：百万円)



※設備投資額はキャッシュフローベースです。当期に稼働開始する設備は680百万円分の予想です。現時点における予想額で、変動があります。

本資料に掲載された情報、及び、口頭によって説明された実現していない内容に関しては、ある一定の仮定の元に予想された見通しであり、マルマエ経営陣の判断など不確実要素を含んでおります。

本資料は、株主・投資家などの皆様にマルマエの現況と経営方針をご理解いただくために作成されたものであり、利用者に対して、当社株式の購入・売却など投資判断を提供するものではありません。投資に関する責任は負いません。

数値などの情報には注意をはらっておりますが、掲載の内容については未監査の数値も多く、確度を保証するものではありません。また、掲載された情報、またはその誤りについて、その理由に関わらず、当社は一切責任を負うものではありません。

本資料に関するお問合せ先

株式会社マルマエ 管理本部総務課 IR担当

ir@marumae.com

TEL 0996-68-1140 FAX 0996-68-1151



Company Profile

企業情報

当社製品は世界中で半導体・液晶製造装置の心臓部を支えています

主要工程
エッチング
CVD
コータ/デベロッパ
スパッタ
枚葉洗浄
アッシング
ウエハーボンディング
イオン注入
アニール

主要製品
真空チャンバー
シャワーヘッド
排気板
静電チャック
ヒーター類
上部電極
ターゲット
搬送系パーツ類
各種真空パーツ類

※画像はイメージです

6. 参考資料（会社概要）

| | |
|------|---|
| 会社名 | 株式会社マルマエ (Marumae Co., Ltd.) |
| 設立 | 1988年10月 |
| 資本金 | 12億4,115万円 (2019年11月30日現在) |
| 役員 | 代表取締役社長 前田 俊一 取締役 海崎 功太 取締役 (監査等委員) 兒島 吉二 取締役 安藤 博音 取締役 (監査等委員) 桃木野 聡 取締役 (監査等委員) 山本 隆章 取締役 (監査等委員) 宮川 博次 |
| 従業員数 | 234名 うち 臨時雇用者等 107名 (2019年11月30日現在) 他 派遣社員12名 |
| 所在地 | 出水事業所 〒899-0216 鹿児島県出水市大野原町2141番地 (本社) 高尾野事業所 〒899-0401 鹿児島県出水市高尾野町大久保3816番41 関東事業所 〒351-0014 埼玉県朝霞市膝折町2-17-15 |
| 事業内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・精密機械、精密機器の設計、製造、加工 ・精密機械部品の設計および製作 ・産業および医療機械器具の設計、製造、販売 ・ソフトウェアの開発、販売 ・製缶工事 ・配管工事 ・運送業務 ・不動産の賃貸 |
| 経営理念 | <ul style="list-style-type: none"> ・技術は究極を目指し ・競争と協調を尊び ・技術注力企業として社会に貢献する <p>経済を支える“モノづくり”の中で、モノづくりの源流である部品加工にこだわっていきます。そして、さまざまな分野で総合メーカーを支えられる企業となるために先端技術と供給力を持つ部品加工のリーディングカンパニーを目指します。</p> |

| | | |
|---------------|---|------------|
| 発行済株式総数 | 13,053,000株 | |
| 単元株式数 | 100株 | |
| 株主総数 | 7,959名 | |
| 大株主 (普通株式) | 前田 俊一 | 4,818,100株 |
| | 日本トラスティ・サービス 信託銀行 (信託口) | 750,600株 |
| | 前田 美佐子 | 504,000株 |
| | 日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口) | 248,300株 |
| | 前田 良子 | 180,000株 |
| | 川本 忠男 | 172,700株 |
| | 五十嵐 光栄 | 168,000株 |
| | 日本トラスティ・サービス 信託銀行 (信託口5) | 159,500株 |
| | J.P. MORGAN BANK LUXEMBOURG S.A. 1300000 (常任代理人 株式会社みずほ銀行決済営業 部) | 136,200株 |
| | マルマエ共栄会 | 122,900株 |

(注) 自己株式が150株あります。
(2019年8月31日現在)

6. 参考資料(沿革と事業変遷)

'65 '88 '97 '00 '01 '03 '05 '06 '08 '09 '11 '15 '17 '18 '19

'65 マルマエ工業個人創業

'88 有限会社設立

'97 T's M's R&Dの合併
バイク部品製造

'00 半導体分野へ参入

'01 株式会社に改組

'03 大型加工機導入
本社を高尾野工業団地へ移転

'05 FPD分野参入

'06 グリーンシート銘柄指定

'08 東証マザーズに上場

'08 熊本事業所が稼働開始

'08 関東事業所が稼働開始

'09 熊本事業所の閉鎖

'11 事業再生ADR手続成立

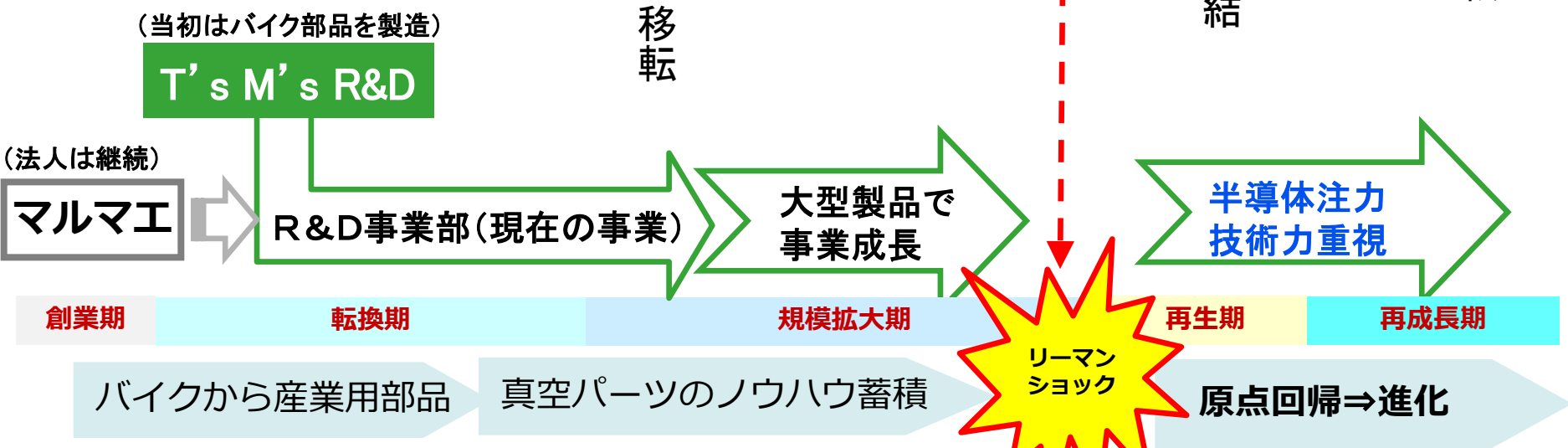
'15 事業再生ADR手続の終結

'17 出水事業所取得

'18 東証二部に上場

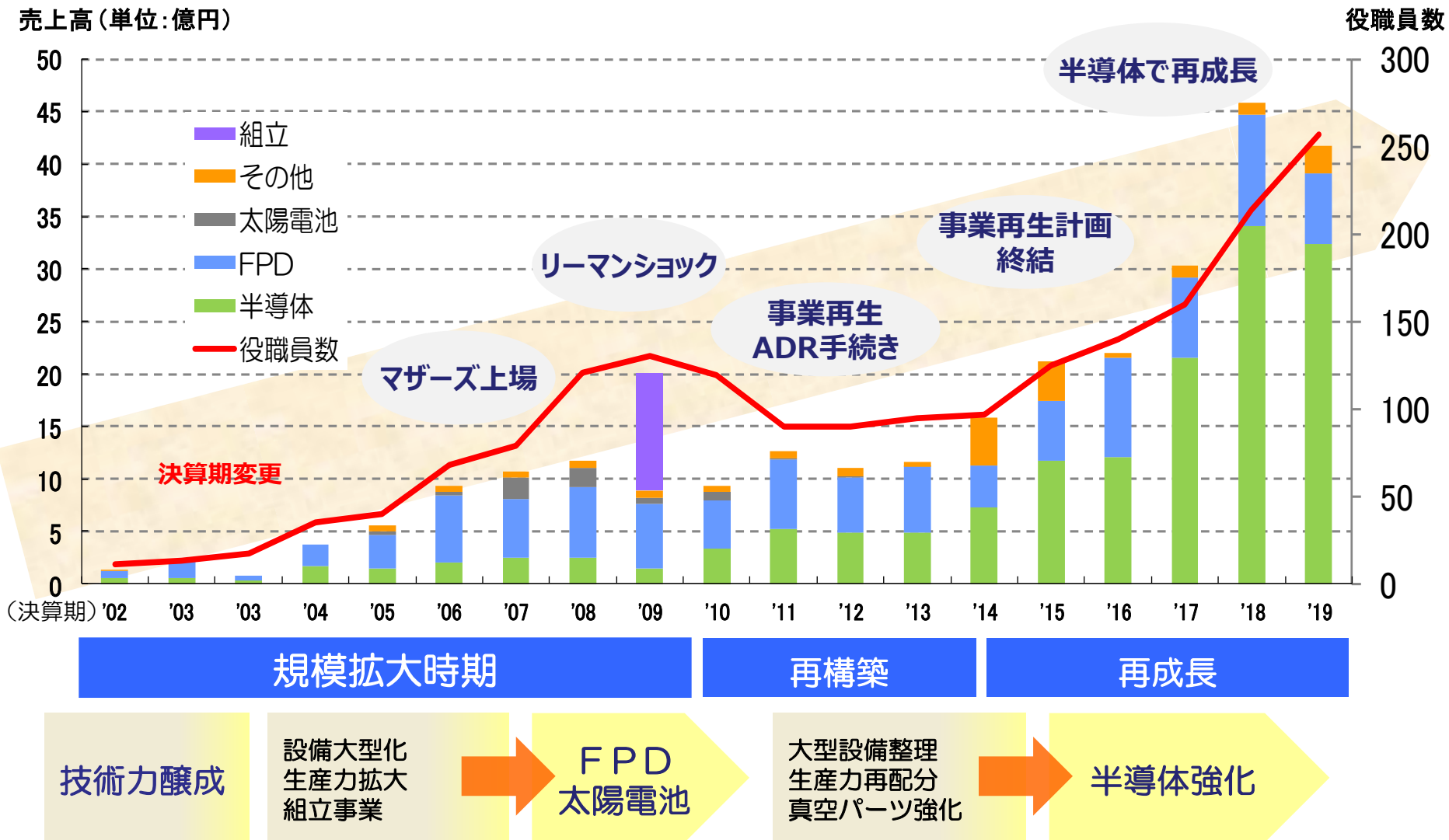
'18 東証一部指定

'19 本社を出水事業所へ移転



6. 参考資料(沿革と事業変遷)

事業成長と成長ドライバー



私達は持続可能な経営を念頭に
技術で社会貢献できる企業を目指します